

REVSPEED

レブスピード3月号 2023年1月26日発売(奇数月26日発売) 特別価格1650円

筑波スーパーバトル 87台 タイムの削り方

GR86/BRZ 先代86/BRZ GRヤリス/GRカローラ
GRスープラ フェアレディZ GT-R WRX STI/WRX S4
S2000 FD3S RX-7 ロードスター ZC33Sスィフトスポーツ
FK8シビックタイプR アバルト595/500 インポートカー...etc.



実録 GRカローラは
筑波でも速かった!

ZC33Sスィフトスポーツ最前線

東京オートサロン2023 注目アイテム &クルマ特集

第34回
**筑波スーパーバトル
オンボード映像特集**

80台超! 多彩な車種 / 仕様 / ドライバー
GRカローラ「ノーマル+チューンド」アタック
プロドライバーのマイカーアタックも!
全日本ジムカーナ選手権 競技車も!

ウエットドライビング
谷口信輝の鉄則
中谷明彦 / 吉田寿博
4WDドラテク

佐々木雅弘 x SUGO
GR86 / GR Supra 激速アタック

特別付録DVD 2層特盛
193分
劇音
木下みつひろ
マニアック
トーク

REV/SPEED

2023 March 3 375

レブスピード2023年3月号 2023年1月26日発売(奇数月26日発売) 発行所・株式会社三栄(販売・広告・編集)
〒161-1126 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スズキエンプラ2階 発行人/伊藤孝伸 編集人/塚本博吾
販売 Tel 03-673-5250 委託センター Tel 048-988-0011 Fax 048-988-1651



シェルのアウトライン全体をアラミド繊維で補強し、
従来モデルよりもひねり剛性と破断強度が格段に向上。
ホールド性、操作性、質感共に進化したジータIV&ジークIVは、
ブリッドが誇る新世代のフルバケットシートです。



LOW MAXに進化した
オールマイティーな
新世代スタンダード
フルバケットシート、ジータIV。



ラウンド(猫背)形状の
バックレストによる
新世代ローアングル
フルバケットシート、ジークIV。

写真のモデルは、
ZETA IV
FRP製シルバースhell・
レッド(HA1BSF)です。

ZETA IV

¥123,200~¥181,500(税込)

- FRP製シルバースhell/スーパーアラミド製ブラックシェル
- 全3色(グラデーションロゴ/ブラック/レッド)
- 難燃生地●保安基準適合モデル●FIA規格取得モデル●日本製
- 着座センサー搭載(座面部)※車種によっては、対応できない場合があります。
- FRP製重量:約74kg/スーパーアラミド製重量:約74kg(※参考値)

抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様 車検もOK!



写真のモデルは、
ZIEG IV
FRP製シルバースhell・
レッド(HB1BSF)です。

ZIEG IV

¥137,500~¥195,800(税込)

- FRP製シルバースhell/スーパーアラミド製ブラックシェル
- 全3色(グラデーションロゴ/ブラック/レッド)
- 難燃生地●保安基準適合モデル●FIA規格取得モデル●日本製
- 着座センサー搭載(座面部)※車種によっては、対応できない場合があります。
- FRP製重量:約76kg/スーパーアラミド製重量:約76kg(※参考値)

抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様 車検もOK!



BRIDE SUPER SEAT
BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社
〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号
電話 (052)689-2611 ファクス (052)689-2612
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、
販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。



ブリッド&エディルプの最新カタログ、無料で差し上げます!
(ブリッド&エディルプ製品の最新カタログ)を無料で差し上げます。住所・氏名・年齢・電話番号・現在お乗りの車種名・
車種型式・雑誌名をご記入のうえ、ハガキにてブリッド株式会社カタログ請求までお申し込みください。ファクス、ホーム
ページからも請求できますので、ブリッドの最新情報は、こちら <http://bride-jp.com>
どうぞ、お気軽にお申し込みください。



XERO CS

ホールド性はピカイチで長時間も疲れ
これがすんなり収まるスイフトは素敵!



各 部の張り出しの大きさやS形状のバックレストなどにより、抜群の包まれ感、疲れにくさ、ヘルメットを被ったときの後方クリアランスを誇る。ハンドルが近くなる利点もあり、レースやジムカーナ、ラリー、ダートトライアルでは定番人気となっている。プロの評価も高い。着座位置はZETA IVより5mmから10mmほど高く、背筋が伸びるので、アイポイントも高くなるが、スイフトの場合、ヘッドクリアランスに余裕があるので、さほど気にならない。また、ピラーへの干渉やシートベルトのバックルが隠れてしまうなどという障害も避けられるし、もともと乗り降りがつらいシート形状ではあるが、そこに関して、ほかの車種よりはラクといえる。こちらもハンドルセンターより10mmドア側にオフセット。

STRADIA III

これぞ万能モデル! GIAS IIIほどではないがフルバケットに近いサーキット性能を確保



G IAS III同様にフルバケット級の剛性を誇る。ホールド性こそGIAS IIIには敵わないが、それでもレベル的にはフルバケットに近く、コンペティション最優先でなければ、不満を感じることはまずないだろう。肩幅が広い人はショルダーサポートが大きいGIAS IIIより、その制約が少ないSTRADIA IIIのほうが、かえって深く肩を収めることができる場合もある。試座によって確認しておきたいポイントだ。ヒップポイントは純正比一約40mm。ハンドルセンターに対してはドア側に10mmオフセット。GIAS IIIよりサイドサポートが低く抑えられているので、乗降性に優れ、運転席=GIAS III、助手席 STRADIA IIIという組み合わせも多い。

GIAS III

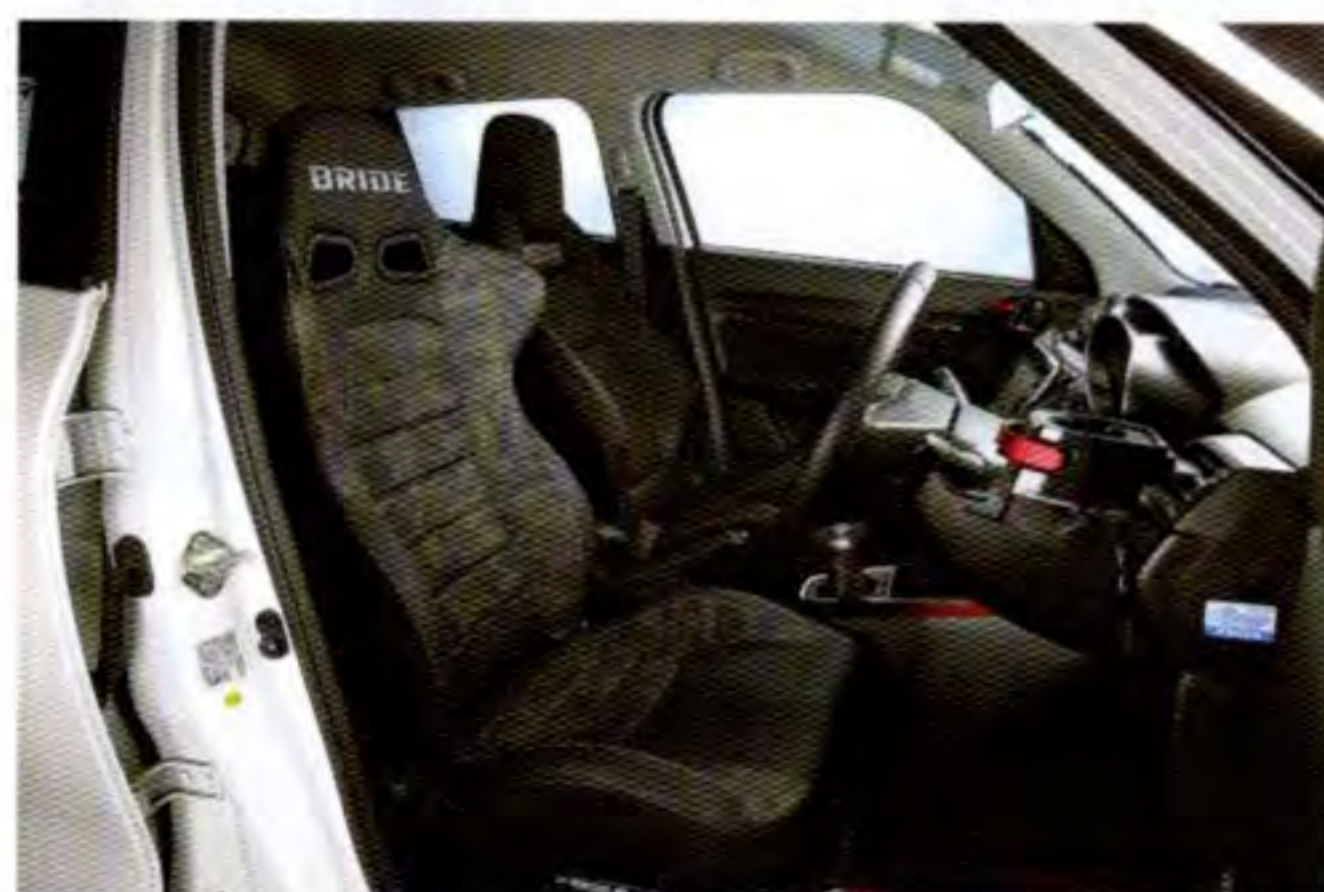
サーキット性能はフルバケット級
自在にドラポジを調整できて万能に近い



フ ルバケット級の剛性とホールド性を備えたリクライニング機構付きのセミバケットシート。とくに腿の支えがうれしいが、最も効いているのは肩の部分だ。ハンドルセンターより10mmドア側オフセット。ヒップポイントは純正比一約40mm。尻が痛くならないよう、座面のウレタンを厚くしているのが原因だ。シートバックはZETA IV以上にストレートなので、立てている尻に体重が集中してしまう。なので、寝かせ気味にして、体重を分散させるほうが疲れにくく、持ち前のホールド性も得やすい。自在に細かくドラポジが調整できて、万能に近く、奮発して買ったとしても後悔はしないだろう。十分にもとが取れるセッティング幅が広いチューニングパーツだ。サイドサポートが大きい分、乗降性にはやや難あり。

EUROGHOST

ストリート主体で、たまにサーキットならコチラ!
カモフラージュ柄はキャビンに粋な装いで彩る



E UROGHOSTはEUROSTER II CRUZをベースに表皮をアップデート。ブルー系もしくはグリーン系のシックなカモフラージュ柄で、カジュアルかつ上質にキャビンに彩る。車種を問わず、どんなクルマにもすんなり溶け込むのが特徴だ。ヒップポイントは純正より約5mmアップ。ハンドルセンターからは10mmドア側にオフセット。もともと、ほかのシート同様、それに関する違和感はない。やや寝かせ気味にしてアイポイントを下げ、体重を分散させるとここでホールド性を高めるように座りたい。硬めのウレタンを用いて、ほどよく動かないように身体を支えてくれる。ストリートがほとんどで、サーキットはごくたまにというパターンなら、試座をオススメする。

取材車はRISE CAR TRADEのデモカー
銀塗装のスペシャリストであり、スズキワーク
ス久留米のアンテナショップ的存在でもある
ライスカートレードのZC33Sが今回の取材車



6種のシートをチェック
ZC33Sは選び放題!
フルバケットの「ジータIV」と「ジークIV」、「ゼロCS」、リクライニング機構付きセミバケットの「ガイアスIII」と「ストラディアIII」、スポーツコンフォートでユーロスターIIクルーズベースの迷彩柄モデル、「ユーロゴースト」の計6アイテムを試した。

BRIDEシート最新ラインアップのZC33Sフィッティングレポート

スイフトスポーツの走りを本格的に味わいたいなら純正シートでは物足りないしかし、市販のシートにもフルバケットやセミバケットやスポーツコンフォートなどさまざまあって、どれにするか悩むところだ。個々の体型や用途も違うので一概にはいえず、最終的には試座して決めてほしいがここではBRIDEの最新ラインアップで、あらかじめの傾向を述べておきたい

シートレールはフルバケットが「FO」、セミバケットが「RO」、スポーツコンフォートは「MO」を使用。フルバケットは前方が中段、後方が最下段の取り付け位置。同社が推奨する、やや寝かせた状態を基準とする。以下、インプレッションは身長170cm前後、体重60~70kgぐらいのドライバーに適合する内容と加味して、参考にしてほしい。

ZETA IV

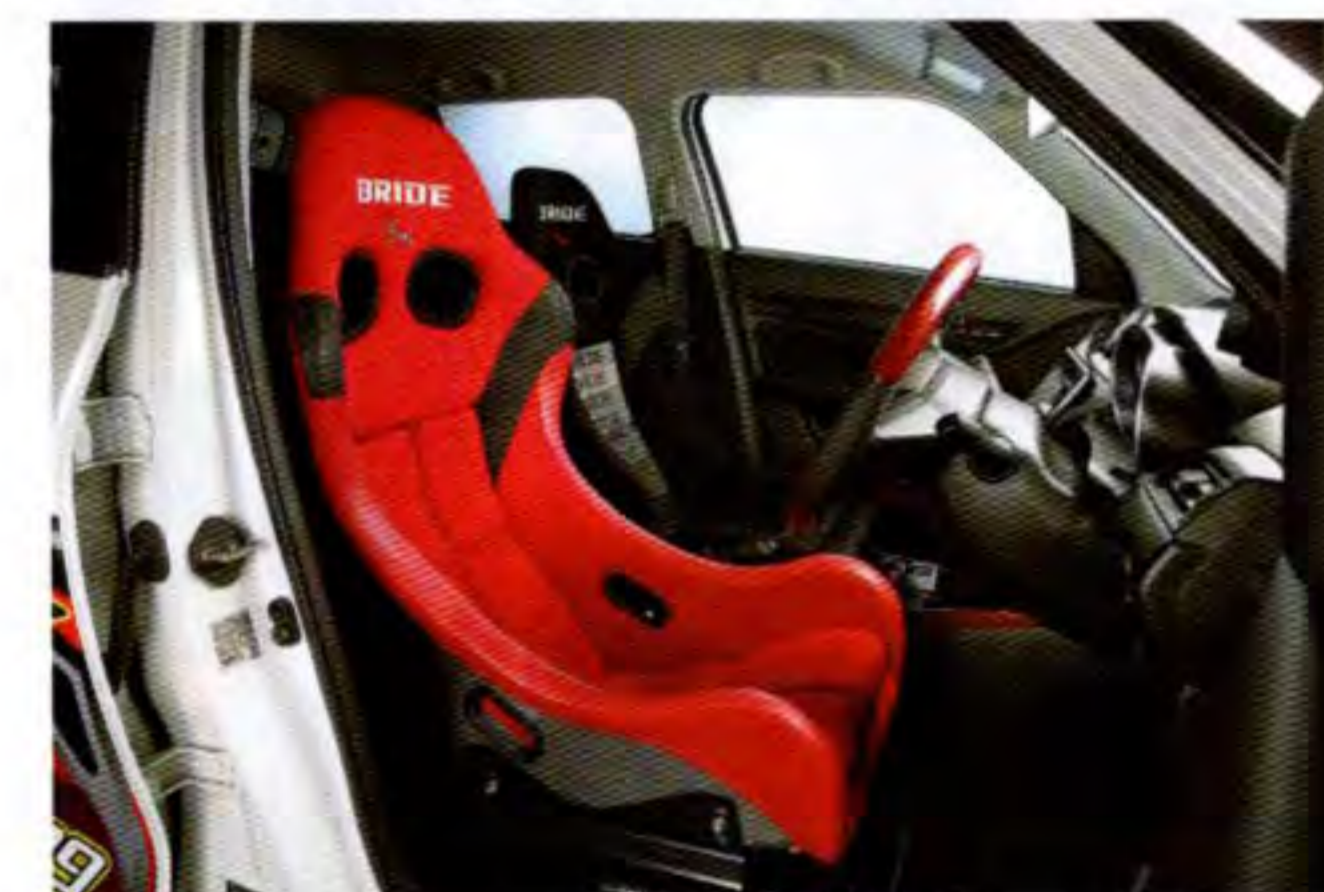
フルバケットでは最も無難な選択
近い形状のXERO CSも併せて検討したい



ほ どよいローポジション。ヒップポイントは純正より約45mmダウン。ハンドルセンターよりドア側に10mmオフセットするが、違和感ほとんどない。直線的なバックレストに身体を預けて座ると、肩や腕の力を抜きやすく、リラックスした状態でのドライブが可能。もっとも、ハンドルはやや遠くなる傾向だ。ヘッドガード付きでわずかに低いヒップポイントを好むなら、同じく直線的なバックレスト形状のXERO CSを選ぶのも手。小ぶりだが、ヘッドガードも備わる。サイドサポートの高さも似ていて乗降性は同レベル。

ZIEG IV

長身の人は低いアイポイントが得られ
包まれ感が高まる傾向にあるが……



ち らもヒップポイントは純正比一約45mmで、ハンドルセンターからはドア側に10mmオフセット。バックレストが弧を描いていて、長身の人が背中を丸めて座り、アイポイントを低くすることができる形状だが、そういう体型であれば、同時に包まれ感の高さも得られるはずだ。バックレストが丸まっている分、後方クリアランスが得やすく、キャビンが狭いクルマでも有利。しかし、ヘルメットを被ると、首が前傾姿勢になりがちだったりするので、試座したうえで決め、取り付けの際も、角度など検討したほうがよい。